

コシヒカリの適期刈取りについて

コシヒカリの出穂期は平年より早く、高温年(出穂後20日間の平均気温が28℃以上の年)であるため、刈取適期は早くなると予想されます。気象予報に留意しつつ、必ず籾の黄化状況を確認し、刈遅れによる胴割米の発生を防止しましょう。

1 水管理

- ・刈取りの5～7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持と登熟向上に努めましょう。ただし、フェーンが予想される場合は、予め入水しましょう。

地域全体の用水が不足していますので、かけ流しは絶対に止めてください。

2 クサネム(雑草)の抜取り

- ・クサネムなどの雑草種子は、調製で取り除くことが困難であり、製品に混入すると農産物検査で格落ちの要因となるので、刈取り前に必ず抜取りましょう。

3 コシヒカリの刈取時期

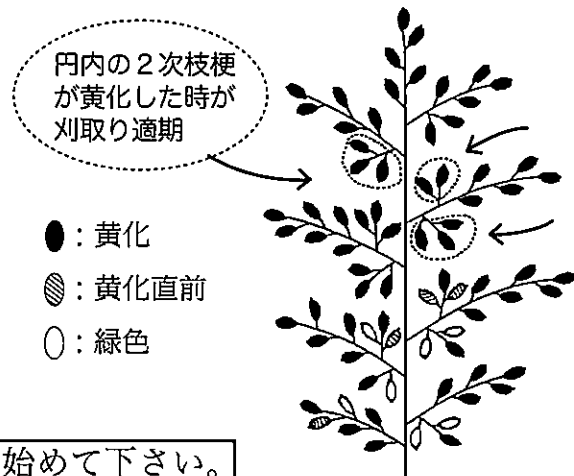
- ・籾の黄化状況を確認し、刈取りましょう。

【刈取適期の目安】

出穂期	刈取適期
7月30日	9月5日頃
8月2日	9月9日頃
8月5日	9月12日頃

- ・刈り遅れによる胴割米が発生しないよう、適期内に刈り終えましょう。

作付規模に応じて遅れないよう刈取りを始めて下さい。



4 乾燥・玄米水分

- ・胴割米の発生を防ぐため、乾燥速度は毎時0.8%以下を基本としましょう。初期の籾水分が高い場合(25%以上)や低い場合(20%未満)は、二段乾燥の実施や送風温度を下げるなど、特に丁寧な乾燥を行いましょう。
- ・青米の混入程度により停止水分を設定しましょう。

【乾燥機停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	0～5粒	6～10粒	11粒以上
乾燥機停止後の水分変化	乾く(-0.5%)	変わらない	もどる(+0.5%)

玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。玄米水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに測定し、過乾燥米の発生を防止しましょう。

秋の農作業安全運動 8月20日～10月20日

詰まったワラを取除く時はエンジンを止める！
後進時には補助者による誘導や確認を心がける！